

教育課程等の概要（事前伺い）														
科目区分		授業科目的名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	
全学共通教育科目	学問への扉	学問への扉	1①②			2		○			4		2	兼533 オムニバス
人文科学系教育科目	世界の思想	世界の思想	1③④			2	○							兼1
	哲学の基礎A	哲学の基礎A	1①②			2	○							兼1
	哲学の基礎B	哲学の基礎B	1③④			2	○							兼1
	倫理学の基礎	倫理学の基礎	1①②			2	○							兼1
	中国哲学基礎	中国哲学基礎	1①②			2	○							兼1
	インド学の基礎	インド学の基礎	1①②			2	○							兼1
	美学	美学	1③④			2	○							兼1
	文芸学	文芸学	1③④			2	○							兼1
	音楽学	音楽学	1③④			2	○							兼1
	演劇学	演劇学	1③④			2	○							兼2
	東洋美術史	東洋美術史	1①②			2	○							兼1
	西洋美術史	西洋美術史	2①②			2	○							兼1
	芸術の実践	芸術の実践	1①②			2	○							兼1
	芸術の場所	芸術の場所	1③④			2	○							兼1
	芸術の世界	芸術の世界	1①②			2	○							兼1
	芸術の歴史	芸術の歴史	1①②			2	○							兼1
	日本文学研究入門	日本文学研究入門	1①②			2	○							兼1
	日本文学の名作を読む	日本文学の名作を読む	1③④			2	○							兼1
	日本の文学A	日本の文学A	1③④			2	○							兼1
	日本の文学B	日本の文学B	1③④			2	○							兼1
	日本の文学C	日本の文学C	1①②			2	○							兼1
	日本の文学D	日本の文学D	1①②			2	○							兼1
	比較文学入門	比較文学入門	1①②			2	○							兼1
	中国語圏の文学A	中国語圏の文学A	1①②			2	○							兼1
	中国語圏の文学B	中国語圏の文学B	1③④			2	○							兼1
	中国古典入門	中国古典入門	1③④			2	○							兼1
	中国の文学	中国の文学	1③④			2	○							兼1
	英米文学入門	英米文学入門	1③④			2	○							兼1
	ドイツの文化・芸術	ドイツの文化・芸術	1③④			2	○							兼1
	フランス文学入門	フランス文学入門	1①②			2	○							兼1
	外国の文学を知る	外国の文学を知る	1①②			2	○							兼1
	西洋の文学	西洋の文学	1①②			2	○							兼1
	教養としての日本語	教養としての日本語	1①②			2	○							兼1
	教養としての日本語	教養としての日本語	1③④			2	○							兼2
	日本語学基礎	日本語学基礎	1①②			2	○							兼1
	国語学の世界	国語学の世界	1③④			2	○							兼1
	国語学入門	国語学入門	1①②			2	○							兼1
	英語学の基礎A	英語学の基礎A	1③④			2	○							兼1
	英語学の基礎B	英語学の基礎B	1③④			2	○							兼1
	英語学の基礎C	英語学の基礎C	1①②			2	○							兼1
	英語学の基礎D	英語学の基礎D	1③④			2	○							兼1
	世界史の考え方	世界史の考え方	1①②			2	○							兼4
	世界史の考え方	世界史の考え方	1③④			2	○							兼2
	歴史学の考え方	歴史学の考え方	1③④			2	○							兼1
	グローバル日本史	グローバル日本史	1③④			2	○							兼1
	日本史の考え方	日本史の考え方	1①②			2	○							兼2
	日本史の話題	日本史の話題	1①②			2	○							兼1
	日本史の話題	日本史の話題	1③④			2	○							兼1
	アジア史学基礎A	アジア史学基礎A	1①②			2	○							兼1
	アジア史学基礎B	アジア史学基礎B	1③④			2	○							兼1
	西洋史学基礎A	西洋史学基礎A	1①②			2	○							兼1
	西洋史学基礎B	西洋史学基礎B	1①②			2	○							兼1
	考古学基礎	考古学基礎	1①②			2	○							兼1
	日本学基礎	日本学基礎	1①②			2	○							兼1
	マイノリティを読む	マイノリティを読む	1③			2	○							兼1
	現代の差別を考える	現代の差別を考える	1③④			2	○							兼1
	日本学の最前線	日本学の最前線	1③④			2	○							兼1
	ことばの学問入門	ことばの学問入門	1①②			2	○							兼1
	アジアの文化と社会を知るA	アジアの文化と社会を知るA	1①②			2	○							兼1
	アジアの文化と社会を知るB	アジアの文化と社会を知るB	1③④			2	○							兼1
	アジアの文化と社会を知るC	アジアの文化と社会を知るC	1③④			2	○							兼1
	アジアの文化と社会を知るD	アジアの文化と社会を知るD	1③④			2	○							兼1
	アジアの文化と社会を知るE	アジアの文化と社会を知るE	1③④			2	○							兼1
	アジアの文化と社会を知るF	アジアの文化と社会を知るF	1③④			2	○							兼1
	アジア言語文化研究入門A	アジア言語文化研究入門A	1③④			2	○							兼1
	アジア言語文化研究入門B	アジア言語文化研究入門B	1③④			2	○							兼1
	アフリカの文化と社会を知る	アフリカの文化と社会を知る	1①②			2	○							兼1
	アフリカ言語文化研究入門	アフリカ言語文化研究入門	1③④			2	○							兼1
	ユーラシアの文化と社会を知るA	ユーラシアの文化と社会を知るA	1①②			2	○							兼1
	ユーラシアの文化と社会を知るB	ユーラシアの文化と社会を知るB	1③④			2	○							兼1
	欧米の言語文化学の考え方	欧米の言語文化学の考え方	1①②			2	○							兼1
	欧米の政治・経済事情	欧米の政治・経済事情	1①②			2	○							兼1
	欧米の文化と社会を知るA	欧米の文化と社会を知るA	1①②			2	○							兼1
	欧米の文化と社会を知るB	欧米の文化と社会を知るB	1①②			2	○							兼1

全学共通教育科目	人文科学系科目	欧米の文化と社会を知るC	1③④	2	○						兼1
		欧米の文化と社会を知るD	1③④	2	○						兼1
		欧米の文化と社会を知るE	1③④	2	○						兼1
		欧米の文化と社会を知るF	1③④	2	○						兼1
		欧米言語文化研究入門A	1③④	2	○						兼1
		欧米言語文化研究入門B	1③④	2	○						兼1
		中東の文化と社会を知るA	1①②	2	○						兼1
		中東の文化と社会を知るB	1③④	2	○						兼1
		中東の文化と社会を知るC	1③④	2	○						兼1
		中東言語文化研究入門	1①②	2	○						兼1
社会科学系科目	社会学系科目	言語社会研究入門	1③④	2	○						兼1
		日本語・日本文化を考えるA	1①②	2	○						兼1
		日本語・日本文化を考えるB	1③④	2	○						兼1
		日本語・日本文化を考えるC	1③④	2	○						兼1
		日本語・日本文化を考えるD	1③④	2	○						兼2
		日本語・日本文化を考えるE	1③④	2	○						兼2
		人間学の考え方	1①②	2	○						兼2
		人間学の考え方	1③④	2	○						兼2
		人間学の話題	1①②	2	○						兼1
		Anthropology and Contemporary Global Issues	1①②	2	○						兼1
		Cross Cultural Psychology	1③④	2	○						兼1
		行動学の考え方	1①②	2	○						兼3
		行動学の考え方	1③④	2	○						兼1
		心理・行動科学入門	1①②	2	○						兼2
		心理・行動科学入門	1③④	2	○						兼2
		感情・人格心理学	2①②	2	○						兼1
		行動学の話題	1①②	2	○						兼4
		行動学の話題	1③④	2	○						兼2
		心理学基礎実験	1③④	2	○						兼1
自然科学系科目	自然科学系科目	社会学の考え方	1①②	2	○						兼2
		社会学の考え方	1③④	2	○						兼1
		社会思想史	1①②	2	○						兼1
		社会思想史	1③④	2	○						兼1
		現代文化論	1①②	2	○						兼1
		現代社会を読み解く	1①②	2	○						兼4
		現代社会を読み解く	1③④	2	○						兼1
		現代社会論	1①	2	○						兼1
		社会科学のための確率統計	1①②	2	○						兼1
		社会学の話題	1①②	2	○						兼3
		社会学の話題	1③④	2	○						兼3
		アジアの途上国における開発と協力	1③④	2	○						兼1
		ジェンダーと社会	1①②	2	○						兼1
		法学の話題	1③④	2	○						兼1
		日本国憲法	1①②	2	○						兼4
		日本国憲法	1③④	2	○						兼6
		法の世界	1①②	2	○						兼6
		法の世界	1③④	2	○						兼1
		法学の考え方	1①②	2	○						兼4
自然科学系科目	自然科学系科目	国際社会の法を考える	1③④	2	○						兼1
		知的財産モール	1③④	2	○						兼5
		政治学の話題	1①②	2	○						兼1
		政治学の話題	1③④	2	○						兼1
		政治の世界	1①②	2	○						兼1
		政治の世界	1③④	2	○						兼1
		国際社会における法と政治	1①②	2	○						兼1
		現代の法と政治を考える	1①②	2	○						兼1
		マクロ経済学の考え方	1①②	2	○						兼2
		マクロ経済学の考え方	1③④	2	○						兼2
		ミクロ経済学の考え方	1①②	2	○						兼3
		ミクロ経済学の考え方	1③④	2	○						兼1
		経済の世界	1①②	2	○						兼2
		経済の世界	1③④	2	○						兼3
		経済現象を読み解く	1①②	2	○						兼1
		経済現象を読み解く	1③④	2	○						兼2
		経済現象を読み解く	1③	2	○						兼1
		平和の問題を考える	1①②	2	○						兼1
		Japan in the World	1①②	2	○						兼1
自然科学系科目	自然科学系科目	Introduction to Social Psychology	1③④	2	○						兼1
		Politics in Post-War Japan	1①②	2	○						兼1
		Media Sociology	1③④	2	○						兼1
		現代数学の基礎	1①②	2	○						兼2
		現代数学の基礎	1③④	2	○						兼1
		数学の考え方	1①②	2	○						兼2
		数学の考え方	1③④	2	○						兼2
		現代物理学の基礎	1①②	2	○						兼1
		物理学の考え方	1①②	2	○						兼1
		宇宙地球科学の考え方	1①②	2	○						兼2
自然科学系科目	自然科学系科目	現代宇宙地球科学の基礎	1①②	2	○						兼2
		化学の考え方	1①②	2	○						兼1
		化学の考え方	1③④	2	○						兼2
		化学の話題	1①②	2	○						兼4
		化学の話題	1③④	2	○						兼2
		グラフィックスの世界	1③④	2	○						兼1
		グラフィックスの基礎	1③④	2	○						兼1
		生命機能学の基礎	1①②	2	○						兼1
		現代生命科学の基礎	1①②	2	○						兼18
		現代生命科学の基礎	1③④	2	○						兼1

基盤教育科目 自然科学系科目	生物学を考える	1③④	2	○		1	兼2
	生命科学の世界	1①②	2	○			兼1
	認知脳科学への誘い	1①②	2	○			兼3
	環境科学の基礎	1①②	2	○			兼2
	環境科学の基礎	1③④	2	○			兼1
	口の健康科学	1③④	2	○			兼2
	健康・医療イノベーション学	1③④	2	○			兼9
	健康・医療の基礎	1①②	2	○			兼6
	健康科学の考え方	1①②	2	○			兼4
	人の老化を考える	1③④	2	○			兼1
総合型科目	現代文化を読み解く	1①②	2	○			兼1
	現代文化を読み解く	1③④	2	○			兼1
	思考の世界	1③④	2	○			兼1
	哲学の考え方	1①②	2	○			兼1
	人文地理学の考え方	1①②	2	○			兼1
	人文地理学の話題	1③④	2	○			兼1
	遊牧民の文化と社会を知る	1③④	2	○			兼1
	現代差別論	1①②	2	○			兼1
	課題から考える知と社会のコミュニケーションデザイン	1③④	2	○			兼1
	科学技術の問題を考える	1①②	2	○			兼1
人間社会系科目	現代日本の教育問題	2①②	2	○			兼6
	共生学の話題	1①②	2	○			兼2
	共生学の話題	1③④	2	○			兼1
	現代人権論	1③④	2	○			兼1
	コンピュータアルゴリズム入門	1③④	2	○			兼2
	コンピュータシステムの原理	1①②	2	○			兼1
	計算機シミュレーション入門	1③④	2	○			兼1
	情報探索入門	1③④	2	○			兼2
	現代の脳科学	1①②	2	○			兼10
	現代のスポーツサイエンス	1③④	2	○			兼1
人間社会系科目	現代の医療と生命を考える	1①②	2	○			兼1
	現代の医療と生命を考える	1③④	2	○			兼1
	現代の医療と生命を考える	1④	2	○			兼1
	現代社会における健康科学の考え方	1③④	2	○			兼1
	心とメンタルヘルス	1③④	2	○			兼2
	現代の環境を考える	1③④	2	○			兼2
	世界は今	1①②	2	○			兼5
	世界は今	1③④	2	○			兼1
	世界の事情を英語で学ぶ	1③④	2	○			兼3
	世界の事情を英語で学ぶ 中級編	1③④	2	○			兼1
人間社会系科目	文理融合に向けた数理科学 I	1①②	2	○			兼1
	文理融合に向けた数理科学 II	1③④	2	○			兼1
	数値シミュレーションの基礎	1①②	2	○			兼1
	数理モデリングの基礎	1①②	2	○			兼1
	工学への数値シミュレーション	1③④	2	○			兼1
	科学・技術と情報の最前線	1①②	2	○			兼10
	先端ビーム科学	1①②	2	○			兼7
	実践的危機管理入門	1①②	2	○			兼3
	自然環境学	1③④	2	○			兼1
	データ科学（社会統計）	1①②	2	○			兼1
人間社会系科目	データ科学特講	1②	2	○			兼2
	データ科学のための教義	1①②	2	○			兼1
	データ解析の実際	1①②	2	○			兼1
	データ科学による課題解決入門	1③④	2	○			兼1
	工学と現代数学の接点	1③④	2	○			兼1
	病気のバイオサイエンス I	1①②	2	○			兼1
	病気のバイオサイエンス II	1③④	2	○			兼1
	今、がんは	1③④	2	○			兼1
	大学生活と社会	1①②	2	○			兼5
	大阪大学の歴史	1①②	2	○			兼8
人間社会系科目	関西は今	1①②	2	○			兼2
	女性リーダーとの対話	1③④	2	○			兼2
	知性への誘い	1①②	2	○			兼11
	震災の知・復興の知	1③④	2	○			1
	インド仏教史概説	1③④	2	○			兼1
	経済学のための数理I	1①②	2	○			兼1
	経済学のための数理II	1③④	2	○			兼1
	金融・保険のためのデータサイエンス	1③④	2	○			兼1
	機械学習入門	1①②	2	○			兼1
	高度情報リテラシー	1①②	2	○			兼1
人間社会系科目	データ科学入門I	1①	1	○			兼1
	データ科学入門II	1②	1	○			兼1
	データ科学入門III	1③	1	○			兼1
	データ科学入門IV	1④	1	○			兼1
	Frontier Lectures from University of California I	1②	2	○			兼1
	Frontier Lectures from University of California II	1②	2	○			兼1
	福島での環境放射線実習	1②	2	○			兼1
	現代キャリアデザイン論 I	1①②	2	○			兼1
	現代キャリアデザイン論 I	1③④	2	○			兼1
	放射線の自然科学、社会学、人文学	1③④	2	○			兼3
人間社会系科目	Basic Learning Skills 1	1③④	2	○			兼1
	Basic Learning Skills 2	1③④	2	○			兼1

高度教養教育科目 （全学共通）	アドヴァンスト情報リテラシー	1③④	2	○			1		兼7
	共生社会とアクセシビリティ	1①②	2	○					兼1
	共生社会とアクセシビリティ	1③④	2	○					兼1
	データ科学による課題解決実践	1①②	2	○					兼1
	データ科学と意思決定	1③④	2	○					兼1
	機械学習の実践	1③④	2	○					兼1
	数理・データ科学の広がり	1③④	2	○					兼1
	数理モデリングの実践	1②	2	○					兼1
	データ科学（機械学習）	1③④	2	○					兼1
	理工系のための統計学	1③④	2	○					兼1
情報教育科目	情報科学基礎A	1①	2	○					兼8
	情報科学基礎B	1①	2	○					兼6
	情報科学基礎C	1①	2	○					兼1
健康・スポーツ教育科目	スポーツ実習A	1①②	1		○		1		兼4
	スポーツ実習A	1③④	1		○		1	1	兼11
	スポーツ科学	1①②	1		○	1	1		兼9
	健康科学実習A	1③④	1		○		1		兼1
	健康科学	1①②	1		○	1			兼2
アドヴァンスト・セミナー	健康科学	1③④	1		○		1		兼2
	市民のための科学コミュニケーション	1③④	2		○				兼1
	ピア・サポート入門	1②	2		○				兼3
	心理学とデータサイエンス	1③④	2		○				兼1
	数理科学入門	1③④	2		○				兼1
	流体現象を解きほぐす数理科学（Advanced）	1③④	2		○				兼1
	様々な科学でみられる数理と応用（Advanced）	1③④	2		○				兼1
	数理医学入門	1③④	2		○				兼1
	キラルテクノロジーの基礎	1②	2		○				兼3
	電子顕微鏡について考えてみよう	1③④	2		○				兼7
	ナノテクノロジーが拓く量子の世界	1③④	2		○				兼12
	データ科学演習	1③④	2		○				兼13
	知能とコンピュータ	1②	2		○				兼6
	システム・制御の新しいパラダイム	1②	2		○				兼1
	放射線医療工学におけるデータサイエンス実習	1②	2		○				兼1
	「囮碁」で論理的思考を養おう	1④	2		○				兼4
	池島プロジェクト：離島から考える	1③④	2		○		1		
	イノベーションのためのバトス・ロゴス・エトス	1③④	2		○		1		
	学術的文章の作法 A	1③④	2		○		1		
	学術的文章の作法 B	1③④	2		○		1		
	学術的文章の作法 C	1①②	2		○		1		
専門基礎教育科目	経営者と学ぶリーダーシップ	1③④	2		○				兼1
	コントラクトブリッジで考える力をつけよう	1③④	2		○				兼2
	実践グローバルリーダーシップ	1①②	2		○				兼1
	相対論的ゲームを作る	1③④	2		○				兼1
	オン・キャンパス・インターネット：どう解くか、ビジネス・シーンのリアル問題	1③④	2		○				兼2
	オン・キャンパス・インターネット：創造的空間を創造する	1①②	2		○				兼4
	リーダーシップを考える	1③④	2		○				兼1
	コンテンツ産業と著作権について考える	1③④	2		○				兼1
	自然の読み方	1③④	2		○				兼1
	映像表現入門	1③④	2		○				兼2
	キャンパスデザインプロジェクト	1③④	2		○				兼3
	統計学C-I	1①②	2		○				兼7
	統計学C-II	1③④	2		○				兼2
	基礎解析学・同演義 I	1①②	3		○	○			兼17
数学	基礎解析学・同演義 II	1③④	3		○	○			兼18
	線形代数学 I	1①②	2		○		1		兼10
	線形代数学 II	1③④	2		○		1		兼9
	Mathematics 3	2③④	2		○				
	力学詳論 I	1①②	2		○				兼7
物理学	力学詳論 II	1③④	2		○				兼7
	電磁気学詳論 I	1③④	2		○				兼3
	電磁気学小論 II	2①②	2		○				兼1
	熱学・統計力学要論	2①②	2		○				兼1
	基礎物理学実験	1③	1		○				兼11
化学	基礎物理学実験	1④	1		○				兼14
	Introductory Physics 1	1③④	2		○				兼1
	Introductory Physics 2	1①②	2		○				兼1
	化学基礎論 A I	1①	1		○				兼12
	化学基礎論 A II	1②	1		○				兼11
	化学基礎論 B I	1③	1		○				兼6
	化学基礎論 B II	1④	1		○				兼6
	基礎無機化学	1③④	2		○				兼3
	基礎化学実験	1③	1		○				兼18
	基礎化学実験	1④	1		○				兼12
	Introductory Chemistry 1	1③④	2		○		1		
	Introductory Chemistry 2	1①②	2		○		1		
	Exercise Session (Introductory Chemistry 1)	1③④	2		○		1		
	Exercise Session (Introductory Chemistry 2)	1①②	2		○		1		

専門教育科目	第I選択	数学解析 I	2①②	2	○				1	1			兼3 兼2				
		数学解析 II	2③④	2	○				1	1	2	2					
		応用数学 I	3③④	2	○												
		応用数学 II	3①②	2	○												
		数学解析演習	3①②	1	○	○											
		電気電子回路序説	2①②	2	○				1	1	2	2					
		材料学通論	3①②	2	○				2	2							
		材料強度学	3③④	2	○				1	1							
		機構学	2③④	2	○				1	1							
		流体力学	3①②	2	○				1	1							
	第II選択	連続体力学基礎	2③④	2	○						1	1					
		弾性学	3①②	2	○												
		熱工学 I	3①②	2	○				1	1	3						
		計算機とプログラミング	2③④	3	○				1	1							
		機械設計基礎	3①②	2	○				1	1							
		設計工学	3①②	2	○				1	1							
		加工工学説	3①②	2	○				1	1							
		生産工学	3③④	2	○				1	1							
		制御系設計論	3③④	2	○				1	1							
		メカトロニクス基礎	3③④	2	○				2	2							
		材料力学 I	2①②	2	○				3	1	1						
		材料力学 II	2③④	2	○				2	1	1						
		輸送現象論 I	2①②	2	○												
		熱工学 II	3③④	2	○				1	1							
		数理計画法	4①②	2	○												
		確率・統計	3①②	2	○				1	1							
		量子力学	3③④	2	○					1	1						
		数值解析	3③④	2	○					1	1						
		計測とデータ処理	3③④	2	○				1	1	1	2					
		アドバンストプログラミング演習	4①②	1	○				1	1	1	2					
		有限要素解析とCAE	4①②	2	○												
		塑性学	3③④	2	○				1	1							
		統計熱力学	3③④	2	○					1	1						
		管理工学	3③④	2	○					1	1						
		ロボティクス	4①②	2	○												
		総合科目 I	4①	1	○												
		総合科目 II	4②	1	○												
		総合科目 V	4③	1	○												
		ものづくり自主研修 I	2集中		1	○			○	1							
		ものづくり自主研修 II	2集中		1	○			○	1							
		インターンシップ（機械）	3集中		1	○				1							
		職業指導A	3①②	2	○												
		職業指導B	3③④	2	○												
		小計 (63科目)	—	46	66	13	—		47	43	11	35	0兼54				
高度教養国際科目		グローバルエンジニアリング	4①②	2	○				20	13							
		小計 (1科目)	—	2	0	0	—		20	13	0	0	0				
教育度科目	第II選択 B	総合科目III	2①②	2	○								兼6				
		総合科目 IV	3③④	2	○								兼12				
		小計 (2科目)	—	0	4	0	—		0	0	0	0	兼18				
合計 (443科目)			—	72	717	43	—		52	51	12	37	0兼1212				
学位又は称号			学士 (工学)			学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
1 機械工学コース								1学年の学期区分		4期							
(1) 応用理工学科に4年以上在学し、以下に示すとおりに全学共通教育科目（高度教養教育科目及び専門基礎教育科目を除く。）から25単位以上、高度教養教育科目から2単位以上、専門基礎教育科目から26単位以上、専門教育科目から81単位以上、高度国際性涵養教育科目から2単位以上、総計136単位以上を修得しなければならない。								1学期の授業期間		8週							
								1時限の授業時間		90分							

- (2) 全学共通教育科目について、次に示すとおりに授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。
- ① 学問への扉から 2 単位を修得しなければならない。
 - ② 基盤教養教育科目
人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目及び総合型科目の中から選択履修し、合計 4 単位以上を修得しなければならない。
 - ③ 高度教養教育科目から 2 単位以上を修得しなければならない。
 - ④ 情報教育科目から 2 単位を修得しなければならない。
 - ⑤ 健康・スポーツ教育科目
「スポーツ実習A」(1 単位)のほかに、「スポーツ科学」(1 単位)、「健康科学実習A」(1 単位)及び「健康科学」(1 単位)のうちから 1 科目を選択履修し、計 2 単位を修得しなければならない。
 - ⑥ マルチリンガル教育科目
 - ア 第1外国語として、英語の授業科目の「総合英語」及び「実践英語」の中から選択履修し、合計 8 単位以上を修得しなければならない。
 - イ 第2外国語として、ドイツ語、フランス語、ロシア語及び中国語のうち 1 外国語を選択履修し、授業科目の中から 3 単位を修得しなければならない。ただし、外国人留学生にあっては、日本語を選択履修することができる。
 - ウ グローバル理解の中から選択履修し、4 単位を修得しなければならない。
 - ⑦ 専門基礎教育科目
必修科目 20 单位、選択科目 6 単位以上、計 26 单位以上を修得しなければならない。
- (3) 専門教育科目について、必修科目から 46 单位、第1選択科目から 20 单位以上を含めて、81 单位以上及び高度国際性涵養教育科目 2 単位以上をそれぞれ修得しなければならない。